「２．久留米市の現状と将来の課題」　関連

『久留米市立地適正化計画』「２．久留米市の現状と将来の課題」に関連し、以下の内容を記述します。

１．現状と課題を整理するにあたり、分析条件・方法

２．都市の現状について

また、立地適正化計画において今後のまちづくりの方向性を考えるうえで、人口減少社会にあっても市民生活、都市活動や財政運営の持続性を確保していくことが重要となることから、都市の現状に加え、市民生活の利便性、公共交通の利便性、災害に対する安全性、財政の健全性に係る内容を整理

４．上記分析を踏まえた、久留米市の課題について

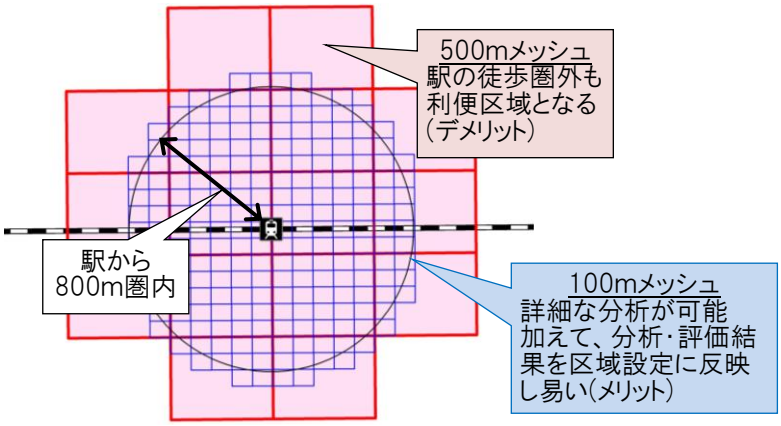
- この【資料編】は、【本編】を補完する各資料を掲載することとしますが、第２章久留米市の現状と将来の課題については、【本編】に記述した図・表他についても掲載しています。

１．分析条件・方法について

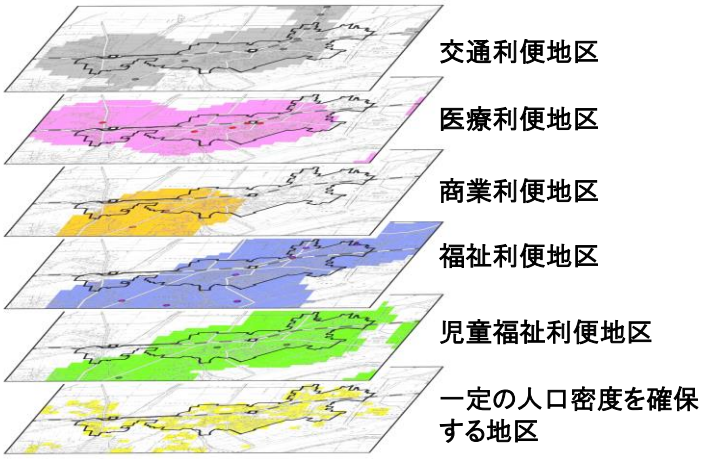
◆都市構造評価の分析にあたって

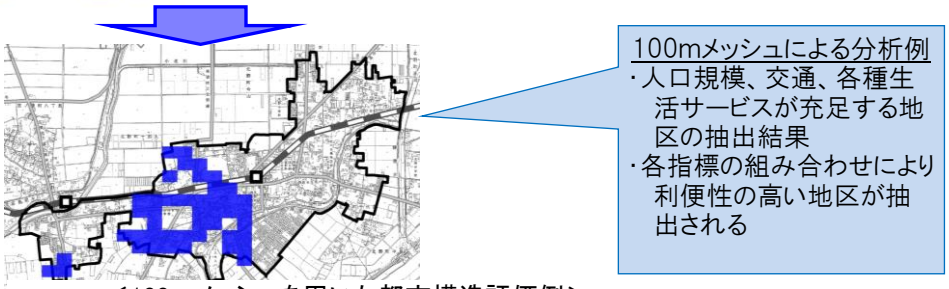
①１００ｍメッシュ単位による分析

- 都市の利便性に係る評価をはじめ、都市構造評価の分析にあたっては、都市を１００ｍメッシュに区切り、各メッシュを地区単位として分析を進めています。
- 「都市構造の評価に関するハンドブック」による分析は５００ｍメッシュが基本ですが、１００ｍメッシュとすることで、駅やバス停からの徒歩圏として設定される８００ｍ圏、３００ｍ圏を踏まえたより詳細な分析が可能となります。また、久留米市では用途地域外に集落が多く分布しており、各地区の利便性を的確に把握するには詳細な分析が有効となることから、１００ｍメッシュとしました。



＜100mメッシュと 500mメッシュの比較＞





＜100mメッシュを用いた都市構造評価例＞

２．久留米市の将来人口推計

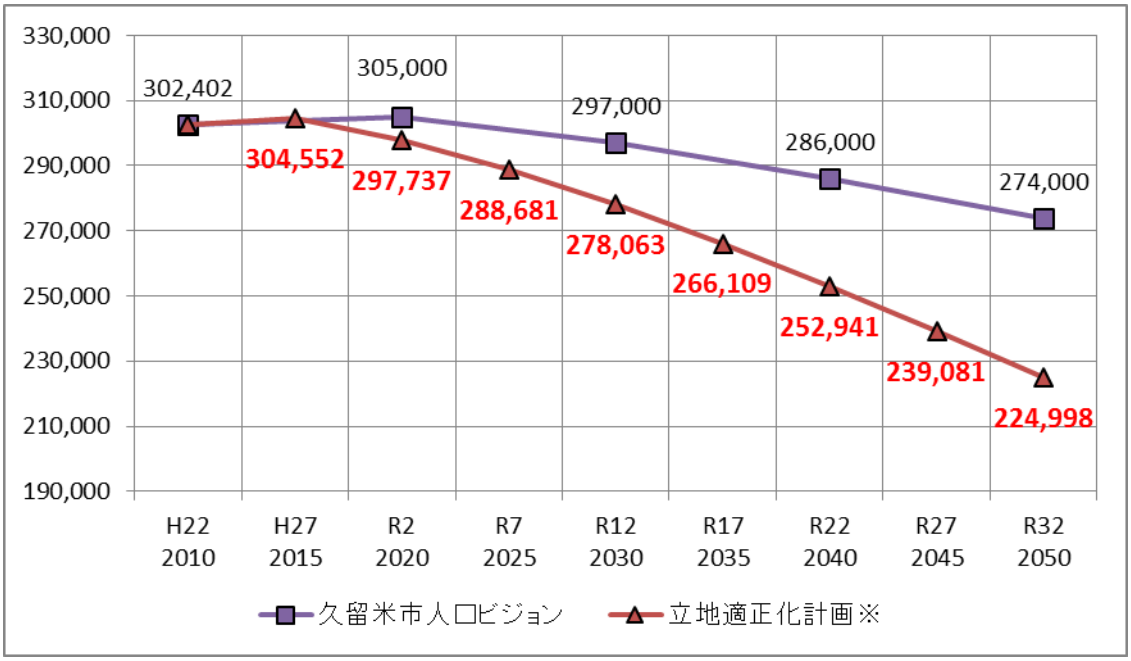
✓　本市の将来都市構造を検討する上で基本指標となる、将来人口について整理します。

（１）久留米市立地適正化計画における将来人口推計について

立地適正化計画策定における居住誘導区域は、将来の人口等の見通しを踏まえた適切な範囲に設定されることとなります。このことからも、人口等の将来の見通しは、国立社会保障・人口問題研究所が公表している将来推計人口の値を採用すべきであり、仮に市町村が独自の推計を行うとしても国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口の値を参酌すべきであるとされています。（都市計画運用指針【国土交通省】）

このため、本計画で用いる将来人口推計については、国立社会保障人口問題研究所（社人研）の推計値を基本とし、近年の実人口の増加分を踏まえた値としています。

なお、久留米市人口ビジョンでは、短期的な展望としては、久留米市新総合計画第３次基本計画の各施策の実施効果により、令和２年度（２０２０年度）当初が３０万５千人を見込んでいます。また、長期的な展望としては、出生率の上昇や人口移動を均衡にすることで、令和２２年度（２０４０年度）末が２８万６千人、令和３２年度（２０５０年度）末が２７万４千人を展望しています。



※国立社会保障人口問題研究所の推計値に平成 27 年国勢調査結果を補正し算出

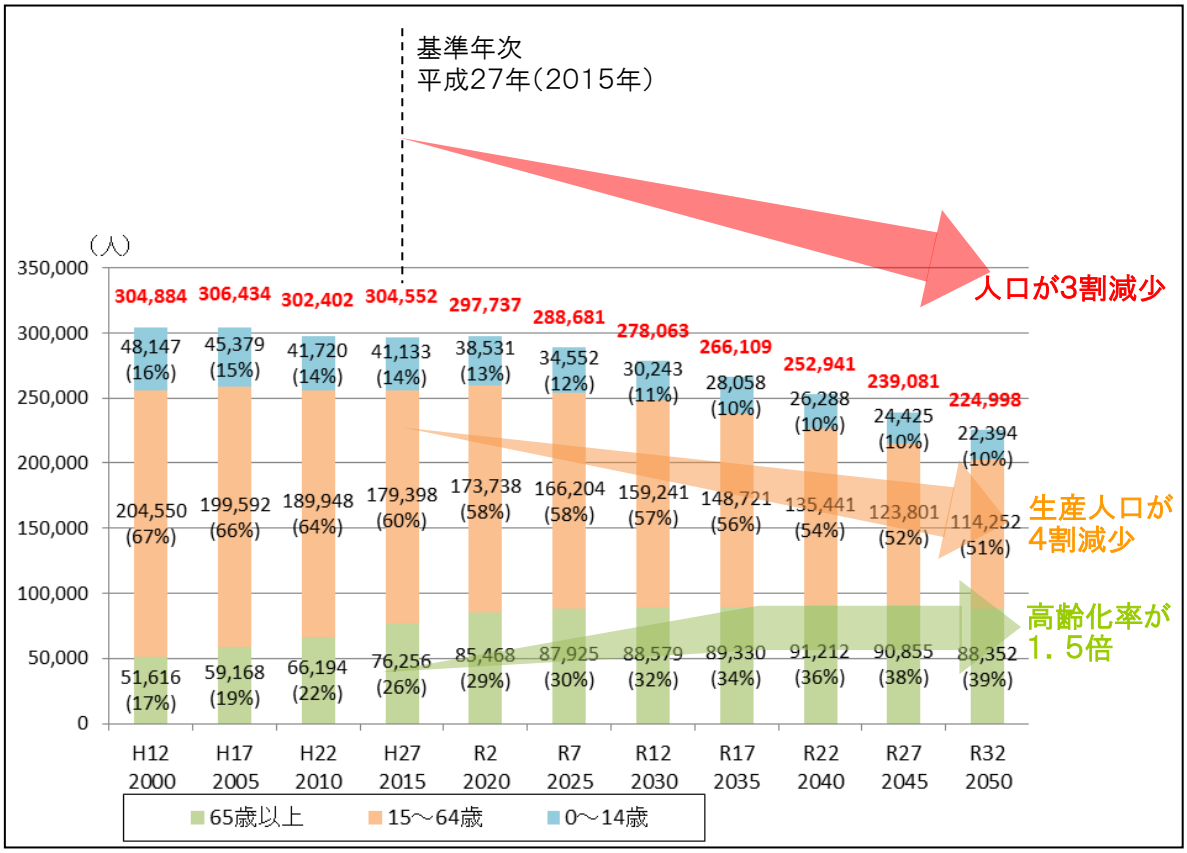
＜久留米市人口の将来見通し＞
資料：国勢調査、久留米市人口ビジョン、日本の将来人口（国立社会保障人口問題研究所）

３．久留米市の人口推移

- ✓ 立地適正化計画検討に当たっては、都市全体、地区別に人口分布や高齢化等の推移などを把握したうえで、将来における都市の課題を整理することが重要です。
- ✓ そこで、将来人口の見通し、年齢別人口構成や人口分布状況の推移を整理します。また人口を基本とした都市構造の推移を把握するため、人口集中地区（ＤＩＤ）地区の状況や人口集積地区（久留米市独自手法）の推移を整理します。

①久留米市の将来人口の見通し

- 人口総数は、平成２７年（２０１５年）時点で３０４，５５２人
- 昭和３５年（１９６０年）以降増加が続いていたが、平成１７年（２００５年）をピークに減少。
- 将来の人口は、人口減少が顕著で、令和３２年（２０５０年）には約３１％減少
- 高齢者（６５歳以上）は約１万人増加、年少人口（０歳～１４歳）は約２万人減少



※平成27年(2015年)以前(実績値)は人口総数に年齢不詳人口が含まれる。

＜年齢別人口の推移＞

②地域別・地区別人口の見通し

②－１地域別人口の推移

- 平成２２年（２０１０年）から令和３２年（２０５０年）の人口増減率をみると、久留米中心地域では２３％程度減少し地域の中で最も減少率が低い
- 一方、善導寺、田主丸、城島地域では、３５％程度減少
- 三潴地域を除いて、用途地域外での減少率が高い

表：地域別人口の推移（増減数、増減率）

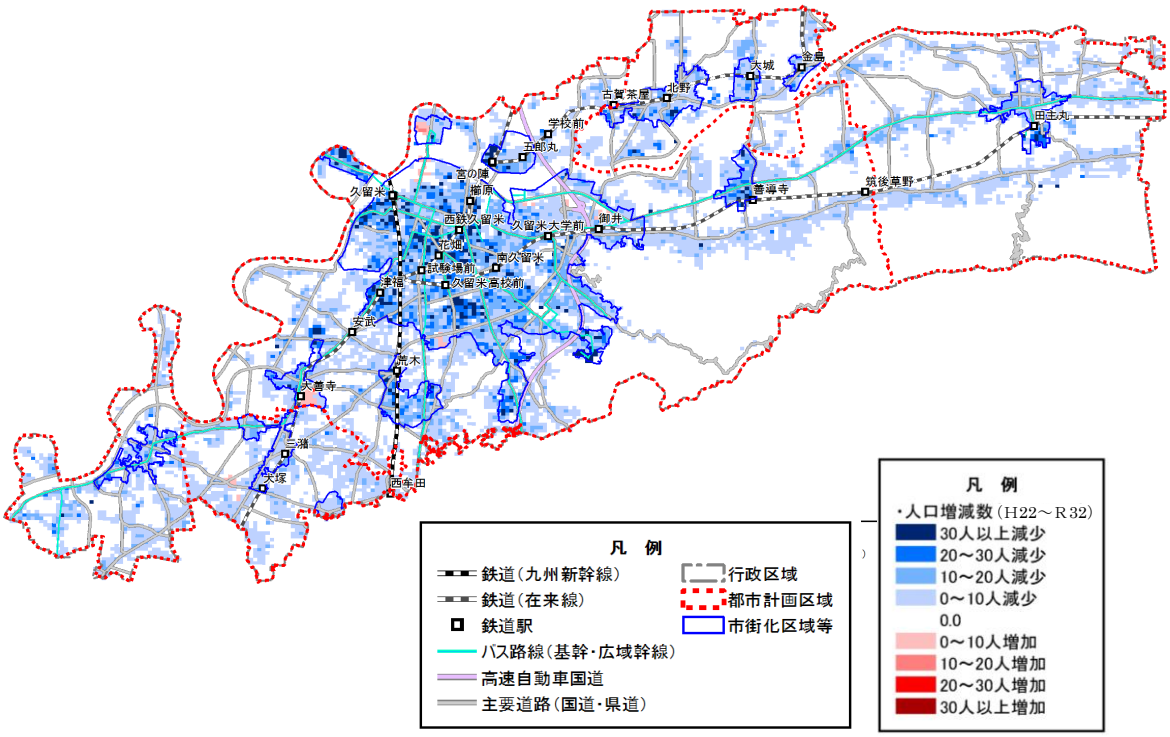
		H12 (2000)	H22(2010)			R12(2030)			R32(2050)		
				対H12 増減数	対H12 増減数		対H22 増減数	対H22 増減数		対H22 増減数	対H22 増減数
久留米地域	中心地域	190,700	192,698	1,998	1.0%	181,570	-11,128	-5.8%	149,325	-43,373	-22.5%
	善導寺地域	16,014	14,645	-1,370	-8.6%	12,554	-2,090	-14.3%	9,515	-5,130	-35.0%
	荒木地域	14,743	14,141	-602	-4.1%	12,506	-1,635	-11.6%	9,808	-4,333	-30.6%
	大善寺地域	15,086	15,009	-77	-0.5%	13,900	-1,109	-7.4%	11,308	-3,701	-24.7%
		236,543	236,493	-50	-0.0%	220,530	-15,963	-6.7%	179,956	-56,537	-23.9%
田主丸地域		21,532	19,906	-1,626	-7.6%	16,690	-3,216	-16.2%	12,841	-7,065	-35.5%
北野地域		17,404	17,376	-28	-0.2%	15,467	-1,909	-11.0%	12,208	-5,168	-29.7%
城島地域		13,946	12,867	-1,079	-7.7%	10,558	-2,309	-17.9%	8,109	-4,758	-37.0%
三潴地域		15,459	15,760	301	1.9%	14,818	-942	-6.0%	11,884	-3,876	-24.6%
久留米市計		304,884	302,402	-2,482	-0.8%	278,063	-24,339	-8.0%	224,998	-77,404	-25.6%

表：地域別・地区別人口の推移（増減数、増減率）

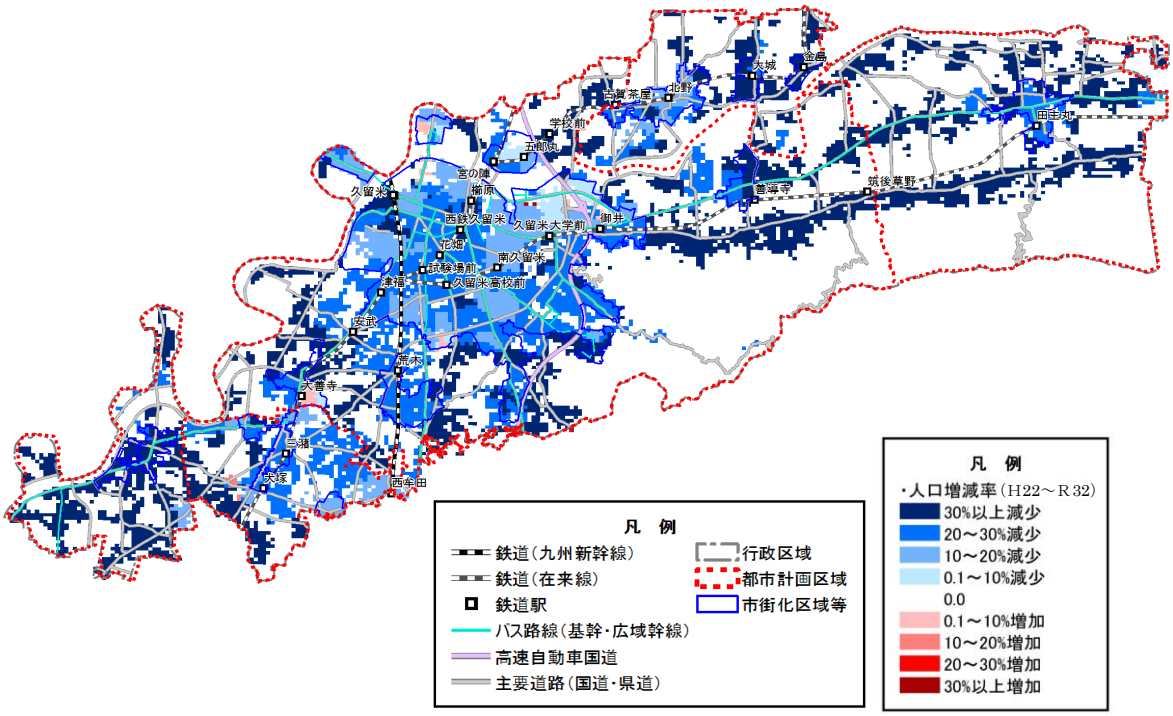
			H12(2000)		H22(2010)			R12(2030)			R32(2050)		
			人口	比率	人口	比率	増減率	人口	比率	増減率	人口	比率	増減率
久留米市計	中心地域	用途地域内	178,400	93.6	181,411	94.1	1.7	171,678	94.6	▲ 3.8	141,647	94.9	▲ 20.6
		用途地域外	12,299	6.4	11,287	5.9	▲ 8.2	9,892	5.4	▲ 19.6	7,678	5.1	▲ 37.6
			190,700	100.0	192,698	100.0	1.0	181,570	100.0	▲ 4.8	149,325	100.0	▲ 21.7
	善導寺地域	用途地域内	5,021	31.4	4,842	33.1	▲ 3.6	4,345	34.6	▲ 13.5	3,399	35.7	▲ 32.3
		用途地域外	10,994	68.6	9,803	66.9	▲ 10.8	8,210	65.4	▲ 25.3	6,115	64.3	▲ 44.4
			16,014	100.0	14,645	100.0	▲ 8.6	12,554	100.0	▲ 21.6	9,515	100.0	▲ 40.6
	荒木地域	用途地域内	8,045	54.6	7,956	56.3	▲ 1.1	7,231	57.8	▲ 10.1	5,758	58.7	▲ 28.4
		用途地域外	6,698	45.4	6,185	43.7	▲ 7.6	5,275	42.2	▲ 21.2	4,050	41.3	▲ 39.5
			14,743	100.0	14,141	100.0	▲ 4.1	12,506	100.0	▲ 15.2	9,808	100.0	▲ 33.5
	大善寺地域	用途地域内	6,830	45.3	7,287	48.6	6.7	7,192	51.7	5.3	6,198	54.8	▲ 9.3
		用途地域外	8,256	54.7	7,721	51.4	▲ 6.5	6,708	48.3	▲ 18.7	5,110	45.2	▲ 38.1
			15,086	100.0	15,009	100.0	▲ 0.5	13,900	100.0	▲ 7.9	11,308	100.0	▲ 25.0
		用途地域内	198,296	83.8	201,496	85.2	1.6	190,445	86.4	▲ 4.0	157,003	87.2	▲ 20.8
		用途地域外	38,247	16.2	34,997	14.8	▲ 8.5	30,085	13.6	▲ 21.3	22,953	12.8	▲ 40.0
			236,543	100.0	236,493	100.0	▲ 0.0	220,530	100.0	▲ 6.8	179,956	100.0	▲ 23.9
田主丸地域		用途地域内	5,823	27.0	5,566	28.0	▲ 4.4	4,821	28.9	▲ 17.2	3,831	29.8	▲ 34.2
		用途地域外	15,709	73.0	14,340	72.0	▲ 8.7	11,869	71.1	▲ 24.4	9,010	70.2	▲ 42.6
			21,532	100.0	19,906	100.0	▲ 7.6	16,690	100.0	▲ 22.5	12,841	100.0	▲ 40.4
北野地域		用途地域内	10,298	59.2	10,639	61.2	3.3	9,604	62.1	▲ 6.7	7,685	63.0	▲ 25.4
		用途地域外	7,106	40.8	6,737	38.8	▲ 5.2	5,863	37.9	▲ 17.5	4,523	37.0	▲ 36.4
			17,404	100.0	17,376	100.0	▲ 0.2	15,467	100.0	▲ 11.1	12,208	100.0	▲ 29.9
城島地域		用途地域内	3,677	26.4	3,461	26.9	▲ 5.9	2,871	27.2	▲ 21.9	2,197	27.1	▲ 40.3
		用途地域外	10,269	73.6	9,406	73.1	▲ 8.4	7,687	72.8	▲ 25.1	5,912	72.9	▲ 42.4
			13,946	100.0	12,867	100.0	▲ 7.7	10,558	100.0	▲ 24.3	8,109	100.0	▲ 41.9
三潴地域		用途地域内	4,914	31.8	4,752	30.2	▲ 3.3	4,571	30.9	▲ 7.0	3,722	31.3	▲ 24.3
		用途地域外	10,545	68.2	11,008	69.8	4.4	10,247	69.1	▲ 2.8	8,162	68.7	▲ 22.6
			15,459	100.0	15,760	100.0	1.9	14,818	100.0	▲ 4.1	11,884	100.0	▲ 23.1
久留米市計		用途地域内	223,008	73.1	225,914	74.7	1.3	212,312	76.4	▲ 4.8	174,437	77.5	▲ 21.8
		用途地域外	81,876	26.9	76,488	25.3	▲ 6.6	65,751	23.6	▲ 19.7	50,561	22.5	▲ 38.2
			304,884	100.0	302,402	100.0	▲ 0.8	278,063	100.0	▲ 8.8	224,998	100.0	▲ 26.2

②－２メッシュ別人口増減

- 人口が多く集積する用途地域内で減少数が高い
- 減少率をみると、用途地域内では田主丸、城島地域で高く、その他用途地域縁辺部、用途地域外での減少率が高い



＜人口増減数（2010年～2050年）＞



＜人口増減率（2010年～2050年）＞

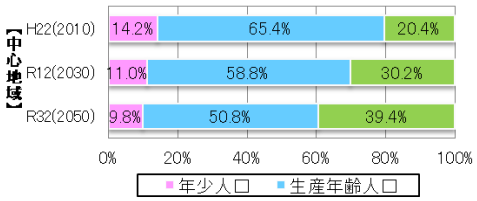
③地域別年齢構成人口の見通し

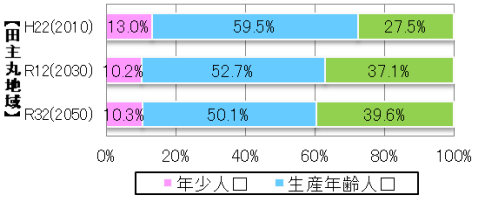
③－１地域別年齢構成人口の推移

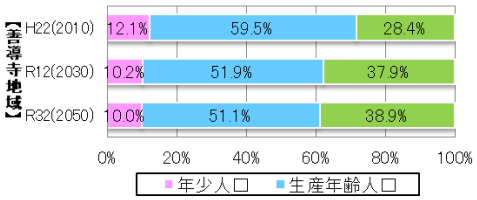
- 地域別の高齢化率は、平成２２年（２０１０年）善導寺地域の２８．４％が最も高く、次いで田主丸地域２７．５％、城島地域２６．２％
- 令和３２年（２０５０年）には、ほとんどの地域で４０％程度となり、久留米中心地域を除いて高齢者人口が横ばい・減少し、人口減少の第２・第３段階※となる。

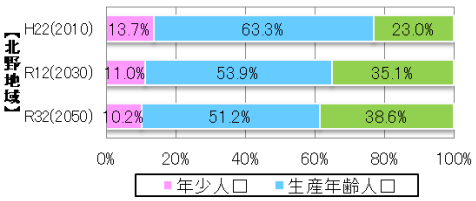
表：地域別年齢構成別人口の推移

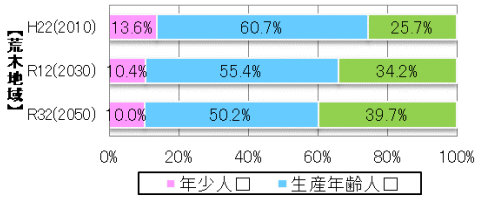
		H22(2010)				R12(2030)				R32(2050)			
			年少人口	生産年齢人口	老年人口		年少人口	生産年齢人口	老年人口		年少人口	生産年齢人口	老年人口
久留米地域	中心地域	192,698	27,395	125,935	39,368	181,570	20,054	106,747	54,769	149,325	14,660	75,902	58,763
		(100.0%)	(14.2%)	(65.4%)	(20.4%)	(100.0%)	(11.0%)	(58.8%)	(30.2%)	(100.0%)	(9.8%)	(50.8%)	(39.4%)
	善導寺地域	14,645	1,778	8,709	4,158	12,554	1,275	6,521	4,758	9,515	952	4,859	3,703
		(100.0%)	(12.1%)	(59.5%)	(28.4%)	(100.0%)	(10.2%)	(51.9%)	(37.9%)	(100.0%)	(10.0%)	(51.1%)	(38.9%)
	荒木地域	14,141	1,925	8,587	3,629	12,506	1,300	6,934	4,272	9,808	983	4,927	3,899
		(100.0%)	(13.6%)	(60.7%)	(25.7%)	(100.0%)	(10.4%)	(55.4%)	(34.2%)	(100.0%)	(10.0%)	(50.2%)	(39.7%)
	大善寺地域	15,009	2,293	9,355	3,361	13,900	1,535	7,965	4,400	11,308	1,173	5,824	4,311
		(100.0%)	(15.3%)	(62.3%)	(22.4%)	(100.0%)	(11.0%)	(57.3%)	(31.7%)	(100.0%)	(10.4%)	(51.5%)	(38.1%)
		236,493	33,391	152,586	50,516	220,530	24,164	128,167	68,199	179,956	17,768	91,512	70,676
		(100.0%)	(14.1%)	(64.5%)	(21.4%)	(100.0%)	(11.0%)	(58.1%)	(30.9%)	(100.0%)	(9.9%)	(50.9%)	(39.3%)
田主丸地域		19,906	2,591	11,835	5,480	16,690	1,708	8,793	6,189	12,841	1,322	6,437	5,082
		(100.0%)	(13.0%)	(59.5%)	(27.5%)	(100.0%)	(10.2%)	(52.7%)	(37.1%)	(100.0%)	(10.3%)	(50.1%)	(39.6%)
北野地域		17,376	2,378	11,000	3,998	15,467	1,709	8,332	5,426	12,208	1,246	6,250	4,712
		(100.0%)	(13.7%)	(63.3%)	(23.0%)	(100.0%)	(11.0%)	(53.9%)	(35.1%)	(100.0%)	(10.2%)	(51.2%)	(38.6%)
城島地域		12,867	1,759	7,735	3,373	10,558	1,075	5,610	3,873	8,109	816	4,079	3,214
		(100.0%)	(13.7%)	(60.1%)	(26.2%)	(100.0%)	(10.2%)	(53.1%)	(36.7%)	(100.0%)	(10.1%)	(50.3%)	(39.6%)
三潴地域		15,760	2,246	9,742	3,772	14,818	1,587	8,339	4,892	11,884	1,242	5,974	4,668
		(100.0%)	(14.3%)	(61.8%)	(23.9%)	(100.0%)	(10.7%)	(56.3%)	(33.0%)	(100.0%)	(10.5%)	(50.3%)	(39.3%)
久留米市計		302,402	42,365	192,898	67,139	278,063	30,243	159,241	88,579	224,998	22,394	114,252	88,352
		(100.0%)	(14.0%)	(63.8%)	(22.2%)	(100.0%)	(10.9%)	(57.3%)	(31.9%)	(100.0%)	(10.0%)	(50.8%)	(39.3%)

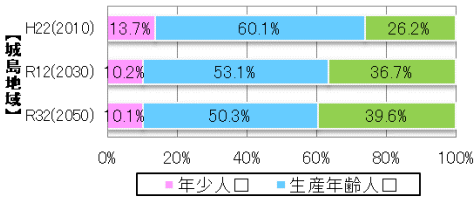


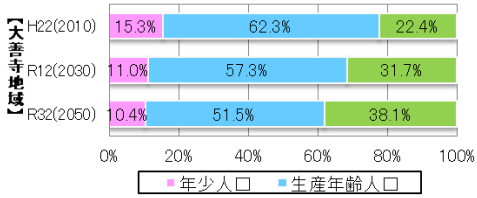


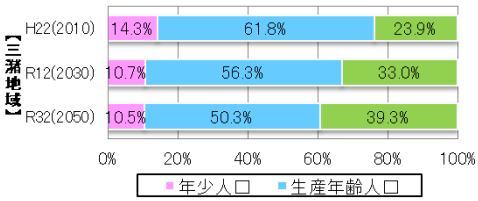








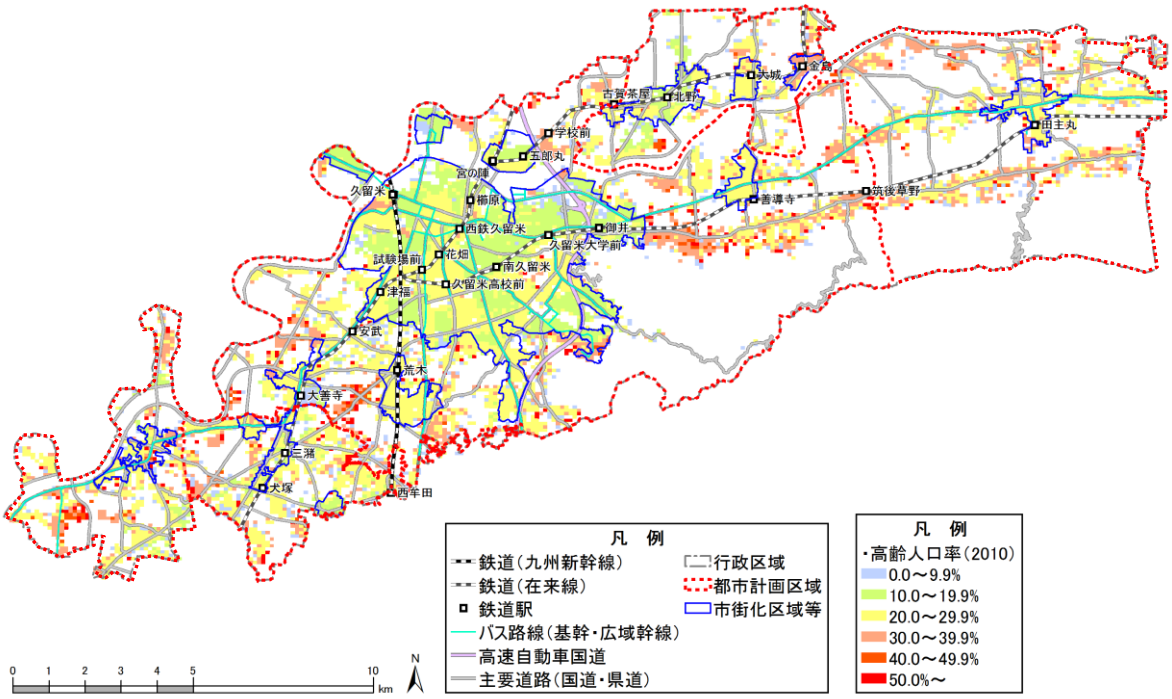




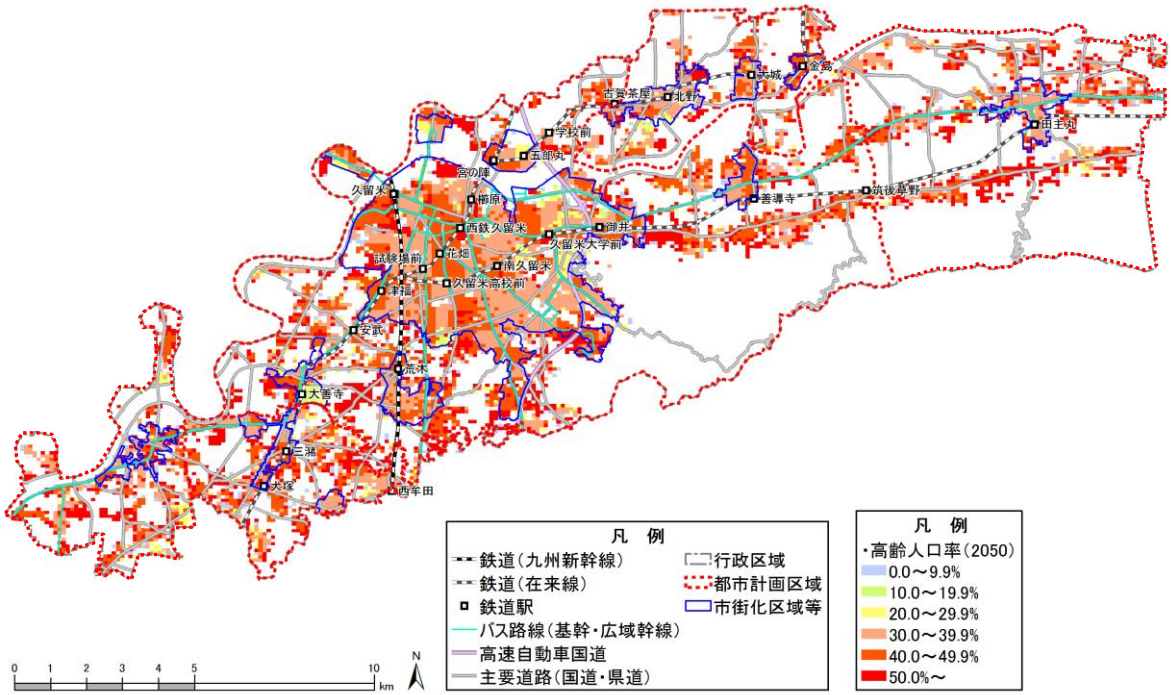
※「人口減少段階」は、一般的に、「第 1 段階：老年人口の増加（総人口の減少）」「第 2 段階：老年人口の維持・微減」「第 3 段階：老年人口の減少」）の 3 つの段階を経て進行するとされている。

③－２メッシュ別高齢化率の推移

- 市街化調整区域、用途地域外など、市街地周辺部での高齢化が高い



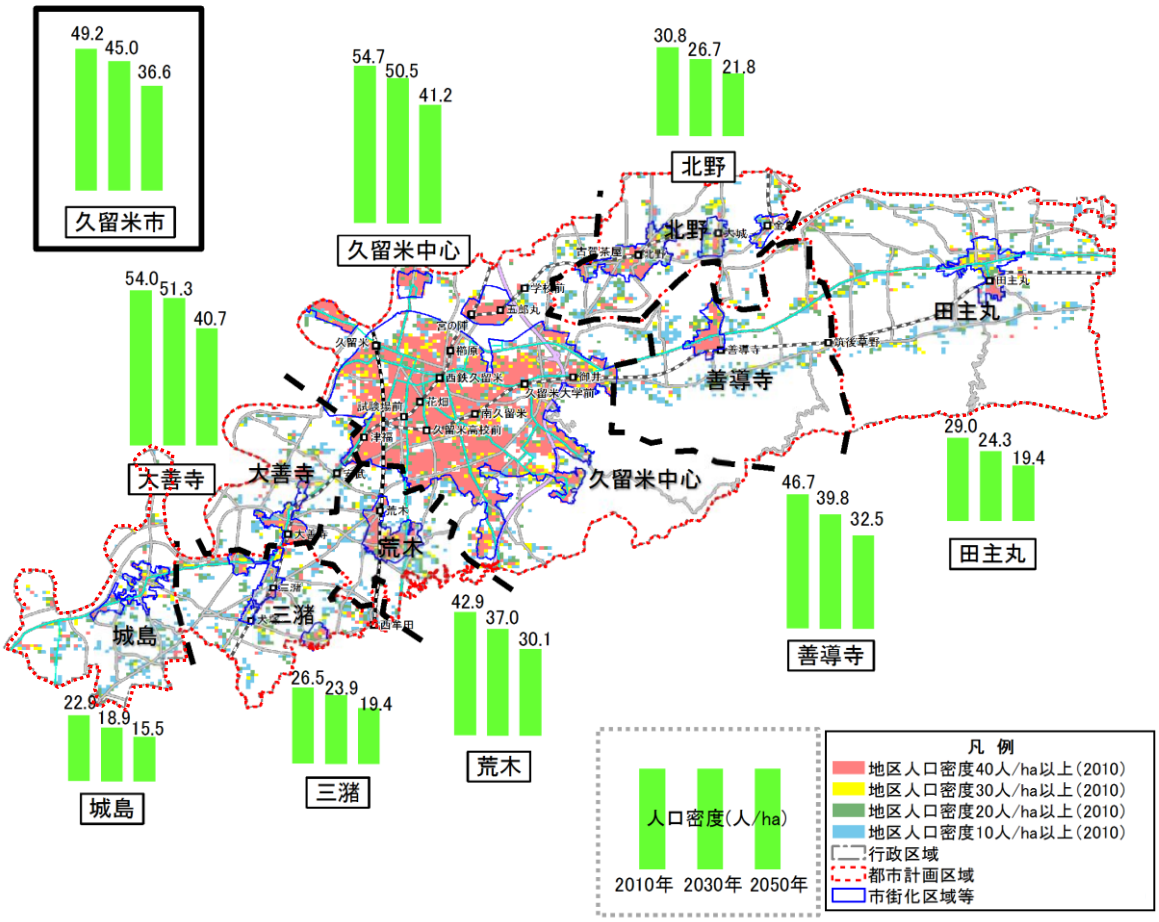
＜メッシュ別人口密度（2010年）＞



＜メッシュ別人口密度（2050年）＞

④地域別人口密度の見通し

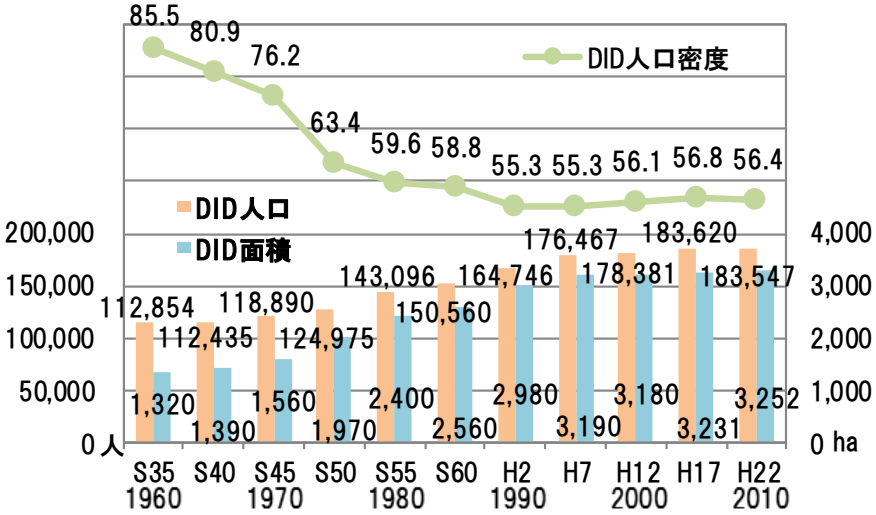
- 久留米市全体の用途地域内の人口密度は、平成２２年（２０１０年）から令和３２年（２０５０年）にかけて４９．２から３６．６人／ｈａへ減少

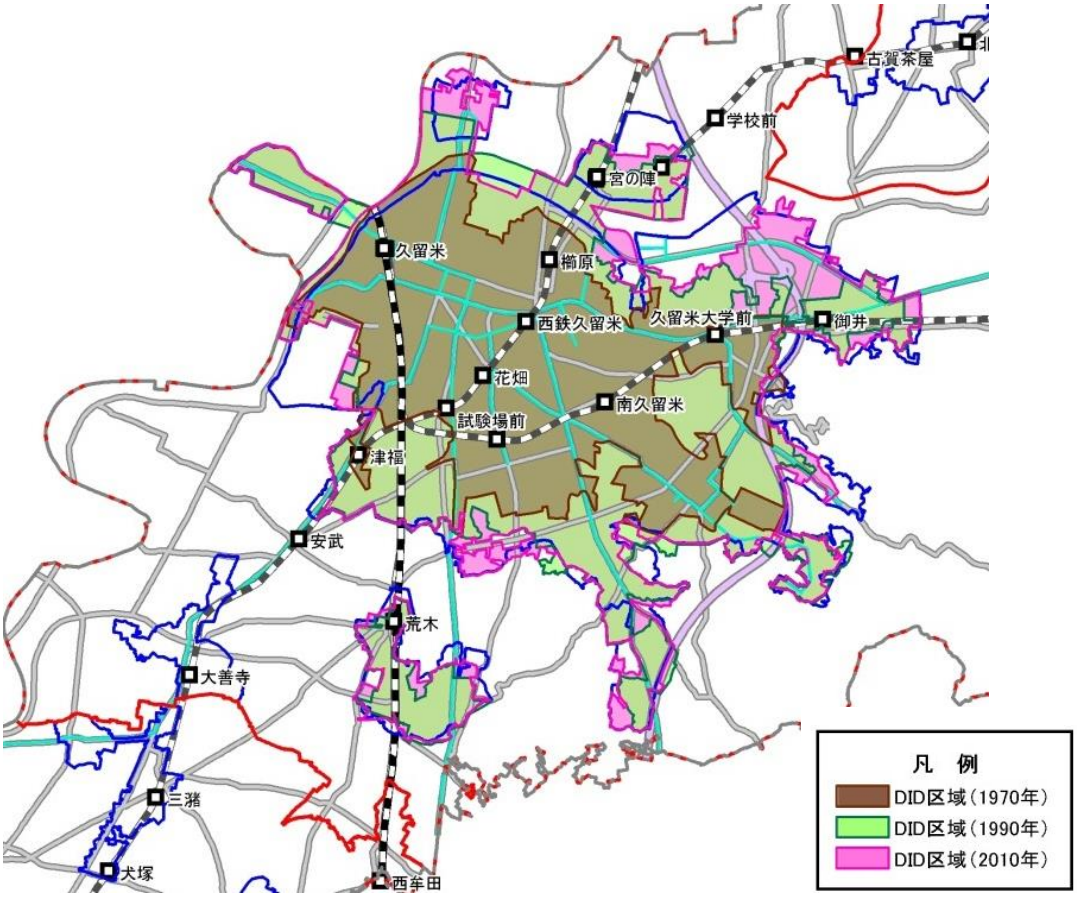


＜地域別人口密度＞

⑤人口集中地区（ＤＩＤ）の推移

- 平成２２年（２０１０年）のＤＩＤ面積は３，２５２ｈａ、人口密度は５６．４人／ｈａ
- 昭和３５年（１９６０年）と比較し面積は２４６％、人口密度６６％となり、市街地は拡大しているが、人口密度は低下

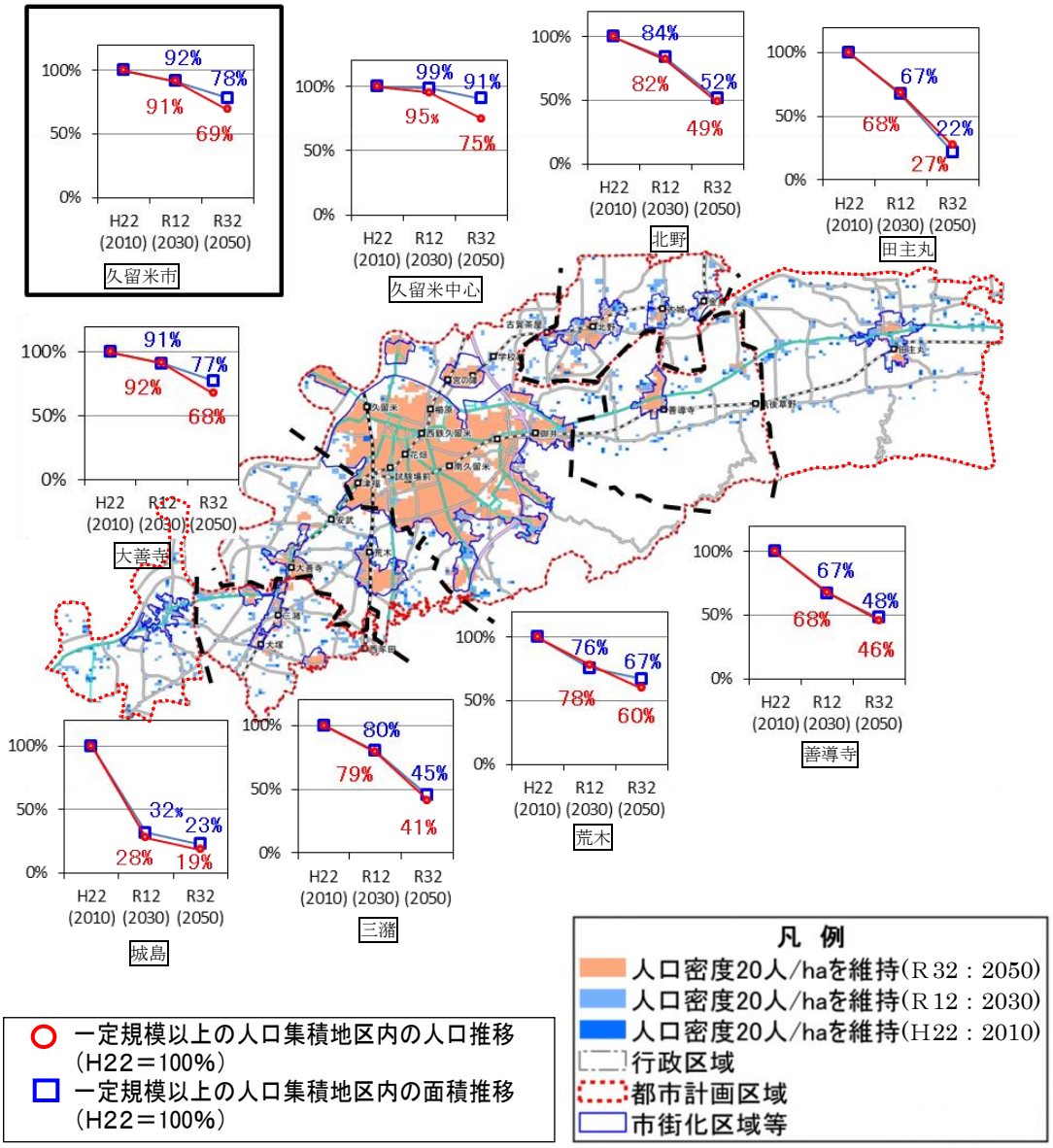


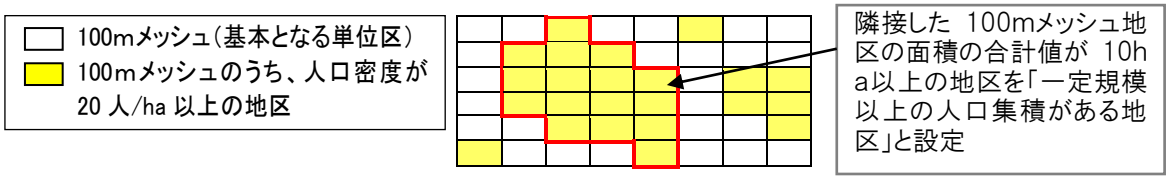


＜人口集中地区の変遷＞
資料：国勢調査

⑥一定規模以上の人口集積がある地区分布の動向

- 一定規模以上の人口集積がある地区（※）の平成２２年（２０１０年）から令和３２年（２０５０年）の推移は、久留米中心地域では、面積に比べて人口の減少率が高く、市街地の低密度化が進行
- 善導寺、荒木、大善寺、北野、三潴地域では、当該地区の規模（面積）や当該地区内の人口が約４０％～６０％程度減少
- 田主丸、城島地域では、当該地区の規模（面積）・人口が約７０％～８０％程度減少



＜一定規模以上の人口集積がある地区の推移図（2010年～2050年）＞

※「一定規模以上の人口集積がある地区」とは、久留米市の都市構造評価の分析において独自に設定した地区で、以下の基準を定めています。
・人口密度20人／ha以上を有する100mメッシュの地区が隣接し、かつその隣接したメッシュ地区の面積の合計値が10ha以上となる地区
（人口密度20人／haは、個別の生活サービス機能を維持するため必要な人口密度が19～24人／haとなることから設定（資料　都市構造評価ハンドブック（国土交通省））